



兄超え グラブに誓う

光星
甲子園だより

こひでとうり
小日出斗里外野手（3年）

50^{メートル}走6秒2の俊足を生かした守備
と思い切りの良い打撃が持ち味。「ベンチから声を出してチームを盛り上げる」と自らの役割を受け止めつつ「代打でも代走でも、出番が来たら積極的にいく」と意気込む。

6人きょうだいの次男。「甲子園はいいところだぞ」。2016年春・夏の甲子園に光星の中堅手で出場した兄・大里さんが宝物のグラブを譲ってくれた。「日本一になって兄を超えたい」。

すっかり手になじんだグラブを手に、兄が果たせなかった悲願を誓う。

（大阪府・新生野中出身、176^{センチ}、73^{キロ}、右投げ右打ち）

